

駐留軍用地跡地からひろがる 沖縄の未来

高校生と一緒に未来のまちを描いてみませんか？

沖縄本島の中南部都市圏では、市街地の中に広大な駐留軍用地があることにより、交通ネットワークや産業基盤の整備などが制限され、望ましいまちづくりが進まないことで、地域の発展に大きな課題を抱えてきました。

今後、返還が予定されている嘉手納飛行場より南の6つの駐留軍用地は、沖縄の新たな発展のための貴重な空間となります。

県では、平成22年度から、関係6市町村（那覇市、宜野湾市、浦添市、沖縄市、北谷町、北中城村）や地主会などの協力のもと、広域交通インフラや公園、土地利用などについて、広域的な視点から跡地利用を検討し、6施設の連携した跡地利用の方向性を示す「中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想」を平成25年1月に取りまとめました。

広域構想は、中南部都市圏のまちを一体と捉え、各跡地の特性を活かしながら、広域的な観点から役割を分担・連携したまちづくりを行い、沖縄全体の発展を目指すものです。

今回、駐留軍用地の跡地利用を皆さまと考える機会として、沖縄の将来を担う高校生が思い描く未来のまちを、まちづくりコーディネーターがその場

で絵として表現し、未来のまちについて高校生、専門家、来場者を交えたパネルディスカッションを開催します。この機会に、沖縄の未来について考えてみませんか。

6つの返還予定地は！?

- 那覇港湾施設「那覇市」
- 牧港補給地区「浦添市」
- 普天間飛行場「宜野湾市」
- キャンプ瑞慶覧（※一部）
- 「沖縄市、北谷町、北中城村、宜野湾市」
- キャンプ桑江「北谷町」
- 陸軍貯油施設第1桑江タンクファーム「北谷町」

跡地利用県民フォーラム・パネル展

日時：11月15日（土）

- フォーラム 14時30分～17時
- パネル展 10時～17時

場所：イオンモール沖縄ライカム 1階

内容：県民フォーラム

- [第1部] 高校生が語る未来の跡地をその場で描いていく公開ワークショップ
- [第2部] 描いた絵を見ながら専門家を交えた未来のまちについてのパネルディスカッション

- パネル展を同時開催 ● 参加無料
- 申込不要 ※座席には限りがあります



問い合わせ 県土・跡地利用対策課 電話：098-866-2040



募集

公立学校臨任教職員・非常勤講師

令和8年度の登録はこちらから▶

